

教 育 課 程 等 の 概 要

(看護学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎科目	主体的学修の基礎・導入	基礎ゼミ1	1前	1			○		3	4	4					
		基礎ゼミ2	1後	1			○		3	4	4					
		クリエイティブシンキング	2前	1				○							兼1	
	コミュニケーション能力の基礎	基礎英語コミュニケーション	1前	1				○	1						兼2	
		中級英語コミュニケーション	1後	1				○	1						兼2	
		上級英語コミュニケーション1	2前		1			○	1						兼1	
		上級英語コミュニケーション2	2後		1			○	1						兼1	
		基礎中国語コミュニケーション	2前		1			○							兼1	
		中級中国語コミュニケーション	2後		1			○							兼1	
		医学・看護英語リーディング	4前	1				○	1						兼1	
		医学・看護英語語彙	4後	1				○	1						兼1	
		スポーツとコミュニケーション	1前	1				○							兼1	
		情報リテラシー	1前	1				○							兼1	
	暮らしの中の統計処理	1後	1				○							兼1		
	人間と日常生活の理解	哲学と倫理	1前		2		○								兼1	
		死生学	4前		2		○								兼1	
		芸術と感性	1後		2		○								兼3	
		人間関係の心理学	1前		2		○								兼1	
		生涯学習論	4後		2		○								兼1	
	社会生活の理解	日常生活の科学	1前		2		○								兼1	
		法からみる医療	4前		2		○								兼1	
		経済からみる医療	4前		2		○								兼1	
		現代社会のしくみ	1前		2		○		1						兼1	
		家族とジェンダー	4前		2		○		1						兼1	
	基礎科目	暮らしの中の統計処理	1後		2		○								兼1	
		異文化コミュニケーション論	1前		2		○								兼1	
	専門基礎科目	小計(26科目)		10	28	12	14	0	4	4	4				兼20	
		健康の成り立ち	健康論	1前	1			○			1					
生命の科学			1前	1			○								兼1	
微生物学			1前	1			○								兼1	
形態機能学Ⅰ(解剖生理学)			1前	1			○								兼1	
形態機能学Ⅱ(解剖生理学)			1後	1			○								兼1	
形態機能学Ⅲ(生化学)			1後	1			○								兼1	
健康障害と治療		栄養学	2前	1			○								兼1	
		病理学概論	1後	1			○								兼1	
		疾病と治療Ⅰ	1後	2			○								兼3	
		疾病と治療Ⅱ	2前	2			○								兼4	
		疾病と治療Ⅲ	2後	2			○								兼5	
		薬理学	1後	1			○								兼1	
臨床の人間学		代替療法と癒し	4後		1			○	1	1	1				兼1	
		生涯発達論	1後	1			○			1						
		医療・看護倫理	1後	1			○		1	1					オムニバス	
		臨床人間学	1後		1		○			1					兼1	
		臨床心理学	1後		1		○								兼1	
		医療コミュニケーション論	2前	1			○		2						オムニバス	
保健医療と社会保障		医療コミュニケーション論演習	2後	1			○		2							
		看護政策論	4後	1			○		1							
		公衆衛生学	2前	1			○		1							
		保健統計学	4前		1		○								兼1	
		関係法規	4前	1			○								兼1	
		社会福祉	1前	1			○		1						兼1	
専門基礎科目		社会資源コーディネート論	4前		1		○		1						兼1	
専門科目		基礎看護学	小計(25科目)		23	5	23	2	0	4	3	1				兼20
			看護学原論	1前	1			○		1						
	臨床実践と看護理論		4前	1			○		1							
	生活行動援助論Ⅰ		1前	1			○				1					
	生活行動援助論演習Ⅰ		1後	2			○				2	1	2			
	生活行動援助論Ⅱ		1後	1			○			1						
	生活行動援助論演習Ⅱ		2前	2			○			1	1	1	1	2		
	看護現象と看護診断		2後	1			○		1							
	看護過程論		2前	1			○			1						
	ヘルス・フィジカルアセスメント		1後	1			○				1					
	ケアリングコミュニケーション		3前	1			○		2							集中

教育課程等の概要														
(看護学部看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤看護領域	開発看護論	看護教育論	4前		1	○			1					
		看護リフレクション	3前	1			○							集中
		看護管理・経営論	4前	1			○		1	1				オムニバス
		看護キャリア開発論	4後	1			○		1					
		医療安全	4前	1			○		1					
		災害看護論	4前	1			○					1		兼1 オムニバス
		災害看護技術演習	4後		1			○				1		兼1
		国際看護論	4前	1			○		1			1		オムニバス
	看護技術強化演習	4後	1				○	4	8	8	5	6		集中
	地域生活支援看護領域	地域在宅支援論	在宅支援論	2前	2			○		1				
在宅支援論演習			2後	2			○		1			1		
家族支援論			2後		1		○		1			1		オムニバス
老年看護学		公衆衛生看護学	2後	1			○		1					
		高齢者支援論	2前	2			○		1	1				
母性看護学		高齢者支援論演習	2後	2			○		1	1		1		
		母性看護学	2前	2			○		1					
小児看護学		母性看護学演習	2後	2			○		1	1				
		小児看護学	2前	2			○		1					
健康回復生活支援看護領域		急性期・周術期看護論	小児看護学演習	2後	2			○		1			1	1
	急性期・周術期看護論		2前	1			○		1					
	クリティカルケア論		2後	1			○		1					
	生活行動回復看護論	急性期・周術期看護論演習	2後	1			○		1		1			
		健康回復生活支援概論	1後	1			○		1	1	1			集中・オムニバス
		生活行動回復看護論	2前	1			○		1					
	慢性期・終末期看護論	生活行動回復看護論演習	2後	1			○		1	1	1			
		セルフケア支援論	2前	1			○		1	1				オムニバス
	精神看護学	セルフケア支援論演習	2後	1			○		1	2				
		緩和ケア論	2後	1			○		1	1				オムニバス
臨地実習	精神看護学	精神看護学	2前	2			○		1					
		精神看護学演習	2後	2			○		1		1	1		共同
		生活行動援助論実習Ⅰ	1後	1			○			1	2	1	2	
		生活行動援助論実習Ⅱ	2前	2			○			1	2	1	2	
		在宅支援論実習	3通	2			○			1		1	1	
		高齢者支援論実習	3通	3			○		1	1		1		
		母性看護学実習	3通	2			○			1	1	1	1	
		小児看護学実習	3通	2			○		1	1		1	1	
		急性期・周術期看護論実習	3通	2			○		1		1		1	
		生活行動回復看護論実習	3通	2			○			1	1			
		セルフケア支援論実習	3通	2			○			1	2			
		緩和ケア論実習	3後	1			○			1	1			
		精神看護学実習	3通	2			○		1		1	1		
		課題探求实習	4前	1			○		4	6			6	
		総合実習	4前	1			○			2	8	5	6	
国際看護論実習	4前		1		○			1		1				
専門科目	小計(54科目)		72	4	24	16	14	8	8	8	5	6	兼1	
研究科目	課題探求	課題探求Ⅰ	4前	1			○		3					オムニバス
		課題探求Ⅱ	4通	2			○		7	8	8	1		
研究科目	小計(2科目)		3	0	1	1	0	8	8	8	1			
合計(107科目)			—	108	37	—	—	10	8	8	5	6	兼38	
学位又は称号			学士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)					
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
学生は4年以上在学し、「基礎科目」から必修科目として10単位、選択科目は「基礎科目」から(コミュニケーション能力の基礎)の英語か中国語のどちらかから2単位、(人間と日常生活の理解)から6単位以上、(社会生活の理解)から6単位以上の合計14単位以上、「専門基礎科目」から必修科目として23単位、選択科目として(臨床の人間学)の臨床人間学か臨床心理学のどちらかから1単位以上、(保健医療と社会保障)から1単位以上の合計3単位以上、「専門科目」から必修科目として72単位、選択科目として2単位以上、「研究科目」から必修科目として3単位を修得し、合計127単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))								1学年の学期区分		2学期				
								1学期の授業期間		15週				
								1時限の授業時間		90分				